

くら・ぴあ通信

令和3年2月号(第29号)

社会福祉法人 ひとほ福祉会

指定通所支援事業所

くらむぼん(0826)42-2188

ぴあ・くらぶ(0826)42-1144



2月といえば節分。今年は2月2日ですが、これは実に124年ぶりなのだそうです。くらむぼんでは豆入れや手作りの豆を作り、鬼に備えています。

節分を過ぎれば暦の上では春ですね。寒さが身に染みて、春が待ち遠しく感じるこの頃です。



昨年の12月に引っ越しをし、1月から新しい場所で活動を始めました。これまでと比べると2倍くらいの広さになり、部屋数も増えたので、宿題をする部屋、おもちゃを置いておく部屋、活動を行う部屋、おやつを食べる部屋、と、用途ごとにスペースづくりをしています。

これまで、宿題中にもかかわらず他の子の遊びが気になり頻繁に中断していたT君は、宿題が終わるまでは遊びをのぞきに來ることが減りました。周りが気になって集団での活動に集中できなかったY君も、活動する部屋を分けることで、目の前のことに集中できるようになりました。子ども自身の持っている特性だけではなく、環境も大きく影響していることがよくわかります。

4月になると新しい子どもたちがぐっと増えます。元気いっぱいの子も
たちが過ごしやすい環境を作るために、日々試行錯誤を
繰り返しています。



活動の様子

くらむぼん

1月23日の土曜活動日は、新しいくらむぼん全体を使って巨大なすごろくを作りました。コマになるのは子どもたち。午前中に段ボールを使ってマス作りをし、午後からすごろく遊びを開始。コースには平均台や芝マットも設置しました。途中のなぞなぞマスや、入った数だけ進める輪投げマスでは大盛り上がり。

外出はなかなかできませんが、室内でも楽しめるレクリエーションを、子どもたちと一緒に考えていきたいです。

ぴあ・くらぶ

キッズでは木曜日の工作の時間に『プラネタリウム』を作りました。

空き箱に穴をあける時の力加減が難しく、穴が小さいと光が外に出ず、穴が近いとつながってしまいます。「このくらいの大きさ?小さいかね?」と考えながら作り上げました。

内側にカラーテープを貼り、部屋を暗くして箱の中に懐中電灯を入れると…箱から光があふれます。「わあ!きれい!」「本当に宇宙みたい!」

楽しい工作の時間が過ごせました♪

